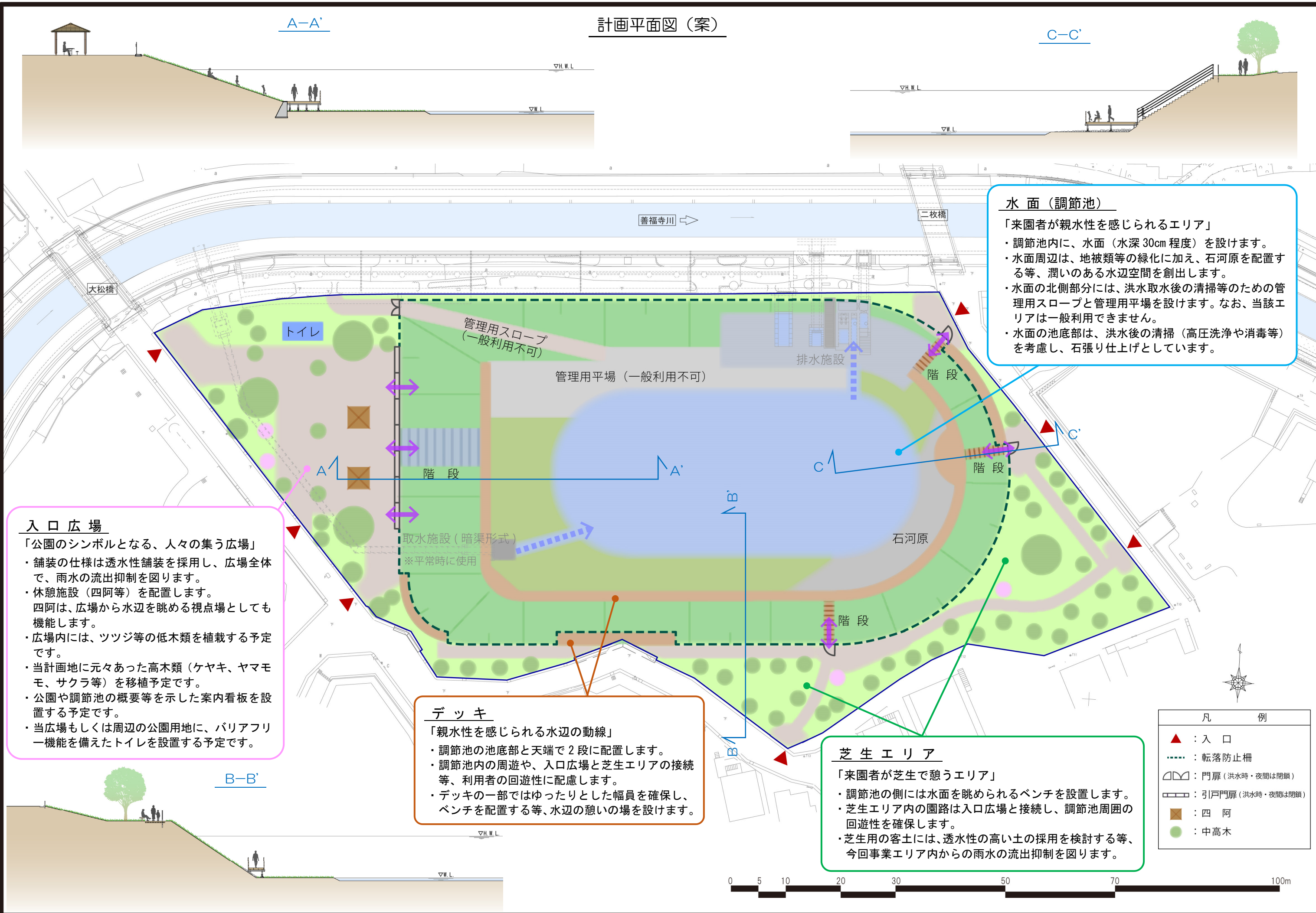


計画平面図（案）



水面（調節池）
 「来園者が親水性を感じられるエリア」
 ・調節池内に、水面（水深 30cm 程度）を設けます。
 ・水面周辺は、地被類等の緑化に加え、石河原を配置する等、潤いのある水辺空間を創出します。
 ・水面の北側部分には、洪水取水後の清掃等のための管理用スロープと管理用平場を設けます。なお、当該エリアは一般利用できません。
 ・水面の池底部は、洪水後の清掃（高圧洗浄や消毒等）を考慮し、石張り仕上げとしています。

入口広場
 「公園のシンボルとなる、人々の集う広場」
 ・舗装の仕様は透水性舗装を採用し、広場全体で、雨水の流出抑制を図ります。
 ・休憩施設（四阿等）を配置します。四阿は、広場から水辺を眺める視点場としても機能します。
 ・広場内には、ツツジ等の低木類を植栽する予定です。
 ・当計画地に元々あった高木類（ケヤキ、ヤマモモ、サクラ等）を移植予定です。
 ・公園や調節池の概要等を示した案内看板を設置する予定です。
 ・当広場もしくは周辺の公園用地に、バリアフリー機能を備えたトイレを設置する予定です。

デッキ
 「親水性を感じられる水辺の動線」
 ・調節池の池底部と天端で 2 段に配置します。
 ・調節池内の周遊や、入口広場と芝生エリアの接続等、利用者の回遊性に配慮します。
 ・デッキの一部ではゆったりとした幅員を確保し、ベンチを配置する等、水辺の憩いの場を設けます。

芝生エリア
 「来園者が芝生で憩うエリア」
 ・調節池の側には水面を眺められるベンチを設置します。
 ・芝生エリア内の園路は入口広場と接続し、調節池周囲の回遊性を確保します。
 ・芝生用の客土には、透水性の高い土の採用を検討する等、今回事業エリア内からの雨水の流出抑制を図ります。

凡 例	
▲	: 入口
⋯⋯	: 転落防止柵
⌌	: 門扉（洪水時・夜間は閉鎖）
⌌	: 引戸門扉（洪水時・夜間は閉鎖）
■	: 四阿
●	: 中高木

